平成30年度 全体的な計画

保育理念 (事業運営方針)		こどもと親とが 未来にむかって 生きる力を 育むひろば			保育目標	1. 基本的生活習慣を身につけ、健康で清潔、安全なことが快適と感じるこども。 2. 基本的な社会生活の決まりを理解し、守るこども。 3. 思いやりの心を持ち、他者と喜びや悲しみを共有できるこども。 4. いろいろなことに関心を持ち、なぜだろうと考え、知ろうとする意欲をもつこども。 5. 冒険心を持ち、失敗を苦にしないで挑戦し、喜びや感動を味わうこども。			
保育方針 (基本目標)		・おもいやりのある こども ・けんこうで たくましい こども ・ともに育ちあう こども				 6. 自分で考え工夫して、好きなものをのびのびと作ったり、描いたりして、表現するこども。 7. 食事、睡眠と排泄のリズムが整い、元気いっぱい活動するこども。 8. 食べ物への関心があり、いろいろなものを喜んで食べ、味わうこども。 9. 美しい音楽、楽しいお話や絵本などに感動したことを、いろいろに表現して楽しむこども。 10. 身の回りにある自然やいろいろなものに働きかけ、遊びを通して丈夫な身体をつくり出すこども。 			
				<u> </u>	保	発育士が行う事項 「		I	
	年齢			2歳児		3歳児		4歳児	5歳児
養護	生命の保持	の保持・生理的欲求の充実・生活リズムの形成を促す		・適度な運動と、休息の充実		・健康的生活習慣の形成		・運動と休息のバランスと調和を図る	・健康・安全への意識の向上
	情緒の安定	・応答的な触れ合い ・情緒的な絆の形成 ・情緒的な絆の形成・温かなやりとりによる心の安定・自我		・自我の育ちへの受容と共感		・主体性の育成		・自信の確立と他者の受容	・心身の調和と安定により、就学への意欲醸成
		0.510		ねらい及び教育・				1	- 15 15
教育及び保育	年齢	O歳児	1歳児	2歳児		3歳児		4歳児	5歳児
	健康	・身体機能の発達	・歩行の確立による行動範囲の拡大 ・危険回避の基礎的経験を積む	・運動、指先の機能の発達 ・自ら食べる意欲と望ましい排泄習慣の 確立		・意欲的な活動 ・基本的生活習慣の確立		・健康への関心 ・体全体の協応運動	・健康増進と、さらなる挑戦への意欲 ・安全で安定感のある行動
	人間関係	・特定の大人との深い関わりによる愛着 心の形成	・周囲の人への興味・関心の広がり	・自己主張の表出 ・友達との関わりの増大 ・思う通りにならない事への葛藤経験		・自分でしようとする意思の形成と簡単な手順理解 ・道徳性の芽生えと平行遊びの充実		・仲間との深いつながり ・相手の思いへの気付き、共感性の醸成	・社会性の確立と、自立心の育成 ・自分で考え自分で行動 ・友達との思いの共感
	環境	・身近な環境への興味を持つ	・好奇心を高める	・自然事象への積極的なかかわり ・自然の大きさ、美しさ、不思議さへの負 付き ・探求心の醸成		・身近な環境への積極的なかかわり ・身近なものを大切にする心		・社会事象への関心の高まり ・エ夫して遊ぶ楽しさ	・社会、自然事象へのさらなる関心と生活への 取入れ ・ものの性質や仕組みへの、興味と関心 ・数量、図形、標識、文字などへの関心
	言葉	・喃語の育みと応答による言葉の芽生え	・言葉の獲得・話し始め	・言葉のやりとりの楽しさ ・日常の挨拶への親しみ		・言葉の美しさ、楽しさへの気付き・生活の中での必要な言葉の理解と使用		・伝える力、聞く力の獲得 ・絵本や物語への親しみ ・お話、物語の要約力の醸成	・文字や数字の獲得による遊びの発展・体験によるイメージや言葉の広がり・再話力の醸成・言葉のニュアンスへの興味醸成
	表現	・純粋な感情の表現	いろいろな素材を楽しむ	・象徴機能の発達とイメージの膨らみ ・音、色、形、手触り、動きを感じる楽し ・音楽、絵画、造形への親しみの育み		・自由な表現と豊かな感性の育ち ・感動体験を伝え合う楽しさ ・基本的なリズム打ちの習得、簡単な合 奏の楽しさ		・豊かな感性による表現 ・心を動かす出来事による想像力と感性 の獲得 ・音楽表現における全体への調和への 意 識付け	・ダイナミックな表現・感動の共感・体験を通した表現・音楽表現における曲想を意識した表現方法の 体現
食育	食を営む 力の基礎	・適切な援助により、食に対する意欲を 持つ	・楽しんで食事をし、いろいろな味を知る	・食べる事を楽しむ。		いろいろなものを進んで食べようとする		・慣れない食べ物や嫌いな食べ物にも 挑戦する	・栽培した作物の世話をしたり、収穫の喜びを知る・食べ物とそれにかかわる人に、感謝の心を持つ
幼児期の 終わりまでに 育ってほしい 10の姿		ア健康な心と体 認定こども園の生活の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向かっ て心と体を十分に働かせ、見通しを 持って行動し、自ら健康で安全な生 活を作り出すようになる。	に向けて、考えたり、工夫したり、協力	中で、人との様々な関わり方に気付き、相手の気が犯に立つ責びを感じ、地域に親しななものと		り気持ちを考えて関わり、自分 ようになる。また、認定こども園 舌に必要な情報を取り入れ、情 活用したりするなど、情報を役 り施設を大切に利用するなどし	自然に触れ 好奇心や探え への関心が高 る。また、身近 さに気付き、	関わり・生命尊重 、て感動する体験を通して、自然の変化なと 水心をもって考え言葉などで表現しながら、 あまるともに、自然への愛情や畏敬の念を 近な動植物に心を動かされる中で、生命ので 身近な動植物への接し方を考え、命あるもの する気持ちをもって関わるようになる。	身近な事象 総本や物語などに親しみながら、豊かな もつようにな 言葉や表現を身に付け、経験したことや 不思議さや尊 考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の
		イ 自立心 身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならないことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動するようになる。	立場に立って行動するようになる。また、きまりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整した。また、もまりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整したませいたがら、きまりを	様な関わりを楽しむようにな	えたり、予想しる。また、友達 る。また、友達 ことに気付き、 み出す喜びを	たり、工夫したりするなど、多 ஹ様々な考えに触れる中 . 自ら判断したり、考え直した	ク 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ 体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必 要感に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつようにな る。		
侹	康支援	・健康状態、発育発達状態の定期的な把握(年2回の内科検診、歯科検診)・異常が認められた時の適切な対応・感染症の情報提供・保健だよりによる健康意識の啓発・保健師との連携			応	主な行事		・クリスマス会 ・豆まき ・ひな祭り	会(年長児) ・バス遠足 ・保育参観 ・発表会 ・お別れ会 ・卒園式 ・誕生会(毎月)
環境·衛生管理		・施設内外の設備、用具等の点検、清掃 ・安全管理及び自主点検 ・子ども及び職員の清潔保持・外部業者の遊具点検及び園庭整備 ・果樹園(花と実のなる広場)の整備				特色ある保育	・外部講師による体操教室 ・年長児プール体験 ・障がい児保育 ・特別支援教育 ・栄養士の対応による食育(クッキング)・AET(英語教師)との交流(年長児)		
安全対策 事故防止		・避難訓練の実施(月1回)・消防点検、消防視察 ・消火器訓練の実施 ・交通安全教室の実施 ・職員の救急救命、AED(自動体外式除細動器)の講習会 ・町や関係機関との連携(役場、消防署等)				地域との連携行事	・夏祭り(おみこしパレード)への参加 ・消防演習の参加 ・敬老会への参加 ・非常時、災害時の避難協力		
社会的責任		・人権の尊重・個人情報の保護・説明責任・苦情の処理・解決				小学校との連携	・行事等の案内状の送付 ・児童との交流会 ・小学校との連携会議・合同研修会・認定こども園こども要録を小学校へ送付		
	養者・地域 ・の支援					研修計画	・環境保育に配慮した園内・園外研修 ・支援を要する子に対応した園内・園外研修 ・施設内外の研修(自己研修)を積極的にすすめ、専門性を高める		